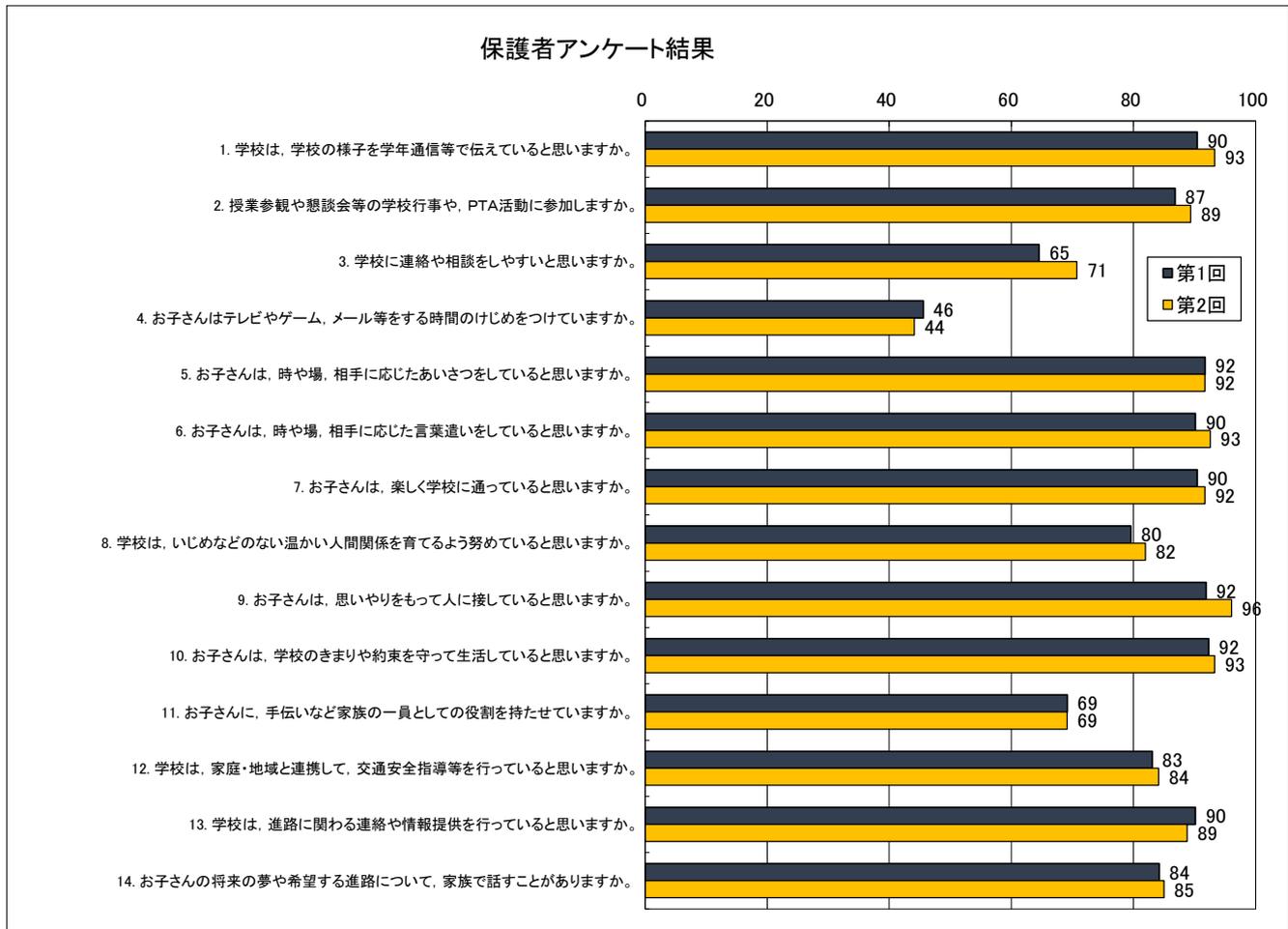




## 第2回学校評価アンケート結果(保護者編)

12月の第2回学校評価アンケートではご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果をお知らせするとともに、本校の課題や取り組みの改善点について検討しましたのでご報告いたします。



※グラフは、設問ごとにA(そう思う)とB(大体そう思う)を合計した割合となっています。2.学校行事やPTA活動への参加については年2回以上(入学式や卒業式を含む)、14.進路の話し合いについては年2回以上の割合となります。本校では、AとBの合計がおおむね80%以上となることを目標としています。

今年度第1回学校評価と比較して、5ポイント以上の増減が認められた項目は次の項目でした。

「3.学校に連絡や相談をしやすいと思いますか。」(第1回65% → 第2回71%)

### 学校の具体的な方策

#### ◆連絡や相談がしやすい学校にするために(保護者設問3)

積極的に電話連絡や家庭訪問等を実施して家庭と連絡を取り、丁寧で親身な対応を行うことにより、保護者や生徒との信頼関係を築きます。また、保護者の要望や意見を汲み取って、連絡や相談がしやすいように学校の態勢を改善するとともに、効果的な連絡や対応の仕方を研修します。※第1回学校評価の結果を受けて、家庭訪問や三者面談など直接対面して懇談する機会以外にも、懇談会や保護者会など、学校と家庭が互いに情報を伝え合ったり意見を交流したりする機会や手段も活用して、連絡や相談がしやすい学校にしていこうと努力してきました。まだ目標の80%には届いていませんが、改善されている事実を励みにして取組を継続していきたいと思えます。(学級別のデータで、最も数値が高かった学級は92%でした。結果の良かった学級の様子や取組も研修で取り上げていこうと考えています。)些細なことでも、連絡や相談をすることに抵抗を感じる部分がありましたら、遠慮なく学校に伝えていただくとありがたいです。

## 家庭へのお願い

### ○手伝いなど家庭での役割を確認してください。(保護者設問11, 生徒設問18)

生徒アンケートでは「あなたは、手伝いなど家族の一員としての役割を持って生活していますか。」という設問なので、保護者とは認識の仕方が違いますが、「役割を持たせて」いる保護者が69%なのに対して、生徒の84%が「役割を持って生活して」と答えています。親は子供に役割を持たせている自覚があまりなくても、子供は役割を意識しているということなののでしょうか。ぜひ、親子で話し合っ互いの仕事や役割を確認し、家族の一員としての自己肯定感や自己有用感を育ててほしいです。

## 学校評価アンケート自由記述への回答

保護者アンケートの自由記述欄に書かれていた内容から、関心の高かった事柄や学校の説明が必要な事柄を取り上げ、寄せられた主な質問や意見についての学校の考え方を紹介します。



### ■制服・服装

・「登下校時の服装の事があいまいで、はっきりしていないのが困ります。」

登下校時は原則として制服です。部活動の朝練習に参加する場合は体育着で登校してかまいません。(始業前には着替えるので制服を忘れないように注意させてください。)また、放課後の部活動後の下校も体育着でよいことになっています。これまでもお伝えしてきましたが、雨ガッパやウインドブレーカーのズボンの下にスカートでなく体育着を着用することも許可しています。

### ■部活動指導

・「不審者情報が多いので、あまり遅くまで部活を行うのは控えてほしいです。」

現在、校内部活動検討委員会で活動時間の短縮について検討しています。今年度は11月～1月の延長時の下校時刻を15分短縮しました。群馬県の中学校長会と中学校体育連盟との「申し合わせ事項」を原則として、本校のこれまでの活動実態を踏まえて、来年度の部活動の在り方を決定していきます。日没と下校時刻の相関や、平日及び休日の活動時間の適正化についても考慮しています。生徒や保護者、地域の方等とも意見交換し、今年度中に結論を出してお知らせする予定ですので、この件についてご意見がございましたら、学校または部活動顧問に直接お伝えください。

### ■交通指導

・「自転車の乗り方が気になります。細い道などから飛び出してきたり、4列くらいで並んで走っていて、車で抜いたりするとふざけながら追いかけてくるふりをしたり・・・。」

こんな行為は言語道断です。今年度は交通事故が多発しており、交通安全指導の機会を増やしています。2学期の終業式でも視聴覚教材を用いた指導を実施しました。「交通ルールを守り、自分を守り、相手を守る運転」ができる生徒を育てていきたいです。気になる乗り方を見かけたらすぐに連絡してください。

・「生徒のカバンが重すぎると思います。自転車に乗る時バランスを崩し危険ではないでしょうか？」

学校のロッカーに置いておく副教材や資料集、ファイル等を検討して、少しでも軽減できるようにします。学校では、安全面から重い荷物は自転車の前カゴに入れられないよう指導しています。重いカバンを背負うことの問題を解消するには、重心やハンドル操作を考慮すると、自転車の荷台に括り付ける方法がよいでしょう。自転車の荷台設置を義務づけ、通学カバンを必ず荷台に括り付けるよう指導している学校もあります。

### ■学習指導

・「毎日の宿題、課題の量が多すぎます。」

今回の生徒アンケートによると、家庭学習(読書、塾を含む)を1日2時間以上している生徒は33%でした。1日1時間以上で78%です。これは決して多い数字ではありません。もともと家庭学習時間が不足している、家庭学習の習慣が身に付いていない生徒が多い現状から、学校全体で計画的な宿題を実施しています。また、宿題の内容は、学習の土台となる基礎的・基本的な内容に重点を置いています。家庭学習の理想は自主的な学習ですから、段階的に宿題を減らして自主的な学習を増やしていきたいと考えています。

### ■その他

・「先生方が子供の様子をよく見て下さり、相談に乗って下さっているので感謝しています。」

・「あずま中学校様には、3人お世話になっております。子供たちがお世話になった先生方には、感謝という言葉しか思いあたりません。」

今回の自由記述には、このような感謝の言葉やお礼の言葉がいつもより多かったです。自由記述には意見や要望、質問が書かれることがほとんどなので、とてもありがたく読ませていただきました。これからもご協力をよろしくお願いします。

